

平成25年第4回竜王町議会定例会（第4号）

平成25年12月20日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程

- 日程第 1 議第80号 竜王町災害対策基金条例
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
- 日程第 2 議第89号 平成25年度竜王町一般会計補正予算(第4号)
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
- 日程第 3 議第90号 平成25年度竜王町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第 4 議第94号 平成25年度竜王町介護保険特別会計補正予算(第3号)
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第 5 請第 1号 特別支援学校の「設置基準」策定を求める請願書
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第 6 意見書第6号 特別支援学校の設置基準の策定等に関する意見書
- 日程第 7 意見書第7号 特別支援教育の充実に関する意見書
- 日程第 8 議会広報特別委員会委員長報告
- 日程第 9 地域活性化特別委員会委員長報告
- 日程第10 議会基本条例推進特別委員会委員長報告
- 日程第11 所管事務調査報告
(議会運営委員会委員長報告)
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第12 議員派遣について

2 会議に出席した議員（ 9名）

1番	小森重剛	4番	岡山富男
5番	山田義明	6番	内山英作
7番	貴多正幸	8番	古株克彦
9番	松浦博	11番	菱田三男
12番	蔵口嘉寿男		

3 会議に欠席した議員（ 3名）

2番	竹山兵司	3番	若井敏子
10番	西村公作		

4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	竹山秀雄	副町長	川部治夫
教育長	岡谷ふさ子	会計管理者	赤佐九彦
総務政策主監兼 産業建設主監	福山忠雄	住民福祉主監	松瀬徳之助
総務課長	奥浩市	政策推進課長	杼木栄司
生活安全課長	井口清幸	住民税務課長	犬井教子
健康推進課長	嶋林さちこ	産業振興課長兼 農業委員会事務局長	田邊正俊
建設計画課長	井口和人	上下水道課長	徳谷則一
工業団地推進課長	尾崎康人	教育次長	山添登代一
学務課長	市田太芽男	生涯学習課長	竹内修

5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	若井政彦	書記	白井由美子
--------	------	----	-------

開議 午前11時30分

○議長（蔵口嘉寿男） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、9人であります。よって、定足数に達していますので、これより平成25年第4回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

会議に入ります前に、去る12月18日の一般質問で、菱田三男議員の町道の区分に関する規則の運用についての再質問に係る回答について、井口建設計画課長より発言が求められておりますので、これを許可します。

○議長（蔵口嘉寿男） 井口建設計画課長。

○建設計画課長（井口和人） 平成25年12月18日の本会議、一般質問において菱田三男議員から御質問がありました町道区分に関する規則の運用についての御質問にお答えさせていただきます。

町道竜王中学校線が町道路線に認定された時期についての御質問であります。竜王中学校線は、昭和37年9月29日に道路法第8条、市町村道の意義及びその路線の認定の規定に基づき、町道路線として認定しております。その後、昭和57年12月27日に第8次道路整備5カ年計画に基づく1級・2級町道との整合と圃場整備事業完了工区における道路網の見直しを図ることから、これまでの町道認定路線を全て廃止し、新たに町道認定路線と町道の路線の区分及び区間が指定されております。そのときに当路線の竜王中学校区間が未供用となっております。

以上、回答とさせていただきます。

○議長（蔵口嘉寿男） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

これより、議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議第80号 竜王町災害対策基金条例

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第1、議第80号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果を委員長より報告を求めます。総務産業建設常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 議第80号、総務産業建設常任委員会報告。

平成25年12月20日

委員長 貴多 正幸

去る12月10日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第80号、竜王町災害対策基金条例について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、12月11日午前9時より第1委員会室において、委員1名欠席のもと会議を開き、竹山町長、福山総務政策主監、奥総務課長、井口生活安全課長の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

竜王町災害対策基金条例は、6月定例会における給与条例改正により生じた財源の使途を検討する中で、災害時における応急対策や復旧に加え、被災者または被災地への支援等についての財源を確保し、災害に対する迅速な対応や災害からの早期復興に係る事業に充てるため、基金を設置し、条例を制定されるものです。

主な質疑応答は、問 基金の目標額はあるのか。答 今年度は1,500万円の積み立てをしますが、5,000万円を一つの目標と考えています。

問 ボランティア関係の経費も考えているのか。答 災害に対する迅速な対応及び災害からの早期復興に係る事業の財源に充てるとしていますが、ボランティア関係については今後、検討していきます。

問 今年度は職員の思いで基金への積み立てができるが、基金は継続性のあるものだと考える。毎年の財源は考えているのか。答 毎年の積み込みについては、財政事情もあり余剰財源を見出しながら考えていきます。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より審査の経過と結果報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第1 議第80号を委員長報告のとおり決することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって、日程第1 議第80号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議第89号 平成25年度竜王町一般会計補正予算（第4号）
（総務産業建設常任委員会委員長報告）

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第2、議第89号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果を委員長より報告を求めます。総務産業建設常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 議第89号、総務産業建設常任委員会報告。

平成25年12月20日

委員長 貴多 正幸

去る12月10日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第89号、平成25年度竜王町一般会計補正予算（第4号）について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、12月11日午前9時より第1委員会室において委員1名欠席のもと会議を開き、竹山町長、関係各主監及び課長等の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

平成25年度竜王町一般会計補正予算（第4号）は、補正予算（第3号）から7億116万4,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を57億3,900万4,000円に改めるもので、臨時職員賃金、住民税税法改正システム対応業務委託料、町税過年度還付金、河川愛護作業補助金、公有財産購入費等の増額、災害時要援護者支援システム整備業務委託料及び災害時要援護者支援用備品、子ども・子育て支援新制度システム整備業務委託料、災害対策基金積立金等の追加、竜王インター周辺地区整備費における委託料、工事請負費等の減額、また債務負担行為補正では、平成26年度での事業実施を円滑に行うため、各種健診業務などの追加と竜王インター周辺地区整備事業の変更であると説明を受けました。

歳入補正予算の主なものは、社会資本整備総合交付金（竜王インター周辺整備事業）1億496万円の減額、しが地域支え合いづくり促進事業補助金500万円の増額、子育て支援環境緊急整備事業費補助金1,300万円の増額、河川愛

護活動事業委託金227万8,000円の増額、前年度繰越金2,833万9,000円の増額、竜王インター周辺地区整備協力金6億5,112万円の減額。

歳出補正予算の主なものは、臨時職員賃金440万円の増額、住民税税法改正システム対応業務委託料518万4,000円の増額、町税過年度過納還付金100万円の増額、災害時要援護者支援システム整備業務委託料116万7,000円の増額、災害時要援護者支援用備品383万3,000円の増額、子ども・子育て支援新制度システム整備業務委託料1,350万円の増額、竜王インター周辺地区整備費といたしまして、委託料2億6,592万円の減額、工事請負費6億9,434万円の減額、公有財産購入費1億9,319万2,000円の増額、災害対策基金積立金1,500万円の増額、人件費補正2,126万5,000円の減額。

主な質疑応答は、問 しが地域支え合いづくり促進事業交付金は単年度事業なのか、また歳出での備品の内容は何か。答 この事業は10分の10の単年度の交付金です。備品については、システム導入に係るハードウェア、ソフトウェアの設定費用です。

問 河川愛護作業補助金の増額分はどのような内訳なのか。答 今回の増額分については、新たに2集落、1団体への交付及び大型重機の使用が補助対象となったこと等による増額分です。全体で28集落、2団体で実施いただいています。

問 土地取得費の内訳は。答 基準地の地価調査が山之上でしたので、若干上乘せもし、1平方メートル当たり3,000円で予算計上していましたが、市街化区域、竜王インターへの利便性などから1平方メートル当たり6,000円となりました。また面積では、調整池、町道を含んで約8万平方メートルでしたが、土地の高低により法面の面積が増加し、約11万平方メートルと増加しました。

主な意見として、債務負担行為補正の追加分で、5年間の指定管理業務が複数あるが、5年間の総額の予算計上となっているため、単年度の契約金額がわかりづらい。次年度以降について、適正に予算計上をされたい。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので、報告いたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より審査の経過と結果報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第2 議第89号を委員長報告のとおり決することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって、日程第2 議第89号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第3 議第90号 平成25年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）  
補正予算（第2号）**

**（教育民生常任委員会委員長報告）**

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第3、議第90号を議題といたします。

本案は、教育民生常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果を委員長より報告を求めます。教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

○教育民生常任委員会委員長（古株克彦） 議第90号、教育民生常任委員会報告。

平成25年12月20日

委員長 古株 克彦

去る12月10日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第90号、平成25年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）について、審査の経過と結果について報告します。

本委員会は、12月12日午前9時より、第1委員会室において欠席委員2名を除く委員4名の出席のもと会議を開き、竹山町長挨拶の後、川部副町長、松瀬住民福祉主監、犬井住民税務課長及び各関係職員の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

平成25年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）は、既決予算に歳入歳出それぞれ1億191万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ11億6,093万1,000円と改めるものです。

補正予算の主な内容は、歳入では、国庫支出金の療養給付費等負担金が1,2

95万7,000円、財政調整交付金が395万3,000円、県支出金の財政調整交付金が364万6,000円、繰越金が8,135万6,000円のそれぞれ増額です。

歳出では、一般被保険者の医療費の今後の執行見込みに伴い、一般被保険者療養給付費が8,134万4,000円、審査支払手数料が8万1,000円、一般被保険者高額療養費が891万4,000円、国保システム変更委託料が30万7,000円、運営協議会委員報酬が9万6,000円、人間ドック検診補助金申請者の増加により保健衛生普及費が10万4,000円のそれぞれ増額、額の決定によりそれぞれ、後期高齢者支援金が872万6,000円の減額、療養給付費等負担金精算返還金が1,979万2,000円の増額との説明を受けました。

委員会での主な質疑応答は、問 医療費の伸びが急激にふえている、どのぐらい伸びているのか。答 平成25年度の6カ月分の療養給付費総額の月平均が6,560万2,000円対前年度比で17.59%の増加があり、平成21年度以降平成24年度までの伸び率は1けた台であり、それと比べると極端にふえています。

問 高額医療費は今年度も多額の補正を組んでいるが、その状況はどのようなか。

答 30万円以上の高額医療費は、昨年度に比べると、件数・金額ともに倍増しています。5月から8月の実績で見ると、月平均件数では、昨年度の20件が今年度は46.75件とふえ、金額では昨年度の1,699万4,000円が今年度は3,497万円とふえています。中でも、生活習慣病関係の病気と精神系の病気で30件を占め、高額医療費の件数の64.2%を占めています。

主な意見として、委員会に提示された資料のデータの分析に努め、その要因・根拠を突きとめるとともに、健康推進課と連携して予防対策に取り組み、住民の健康推進に努められたい。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しましたので、報告いたします。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいま、教育民生常任委員会委員長より審査の経過と結果報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第3 議第90号を委員長報告のとおり決することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって、日程第3 議第90号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第4 議第94号 平成25年度竜王町介護保険特別会計補正予算（第3号）
（教育民生常任委員会委員長報告）**

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第4、議第94号を議題といたします。

本案は、教育民生常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果を委員長より報告を求めます。教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

○教育民生常任委員会委員長（古株克彦） 議第94号、教育民生常任委員会報告。

平成25年12月20日

委員長 古株 克彦

去る12月10日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第94号、平成25年度竜王町介護保険特別会計補正予算（第3号）について、審査の経過と結果について報告します。

本委員会は、12月12日午前9時より、第1委員会室において欠席委員2名を除く委員4名の出席のもと会議を開き、竹山町長挨拶の後、川部副町長、松瀬住民福祉主監、中原福祉課課長補佐及び各関係職員の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

平成25年度竜王町介護保険特別会計補正予算（第3号）は、既決予算に歳入歳出それぞれ6,784万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億6,745万円と改めるものです。

補正予算の主な内容は、歳入では、国庫支出金として、介護給付費負担金が1,239万8,000円、調整交付金が332万4,000円のそれぞれ増額、支払基金交付金が1,957万2,000円、県負担金が953万6,000円、一般会計繰入金として879万2,000円、繰越金が1,422万4,000

円のそれぞれ増額です。

歳出では、今後の執行見込みに伴い、居宅介護サービス給付費が4,000万円、施設介護サービス給付費が2,200万円、居宅介護サービス計画給付費が320万円、地域密着型介護サービス給付費が160万円等のそれぞれ増額との説明を受けました。

主な質疑応答は、問 基金の残額は現在どのようになっているか。答 基金は3,547万8,399円です。

問 国の居宅介護サービスを中心に施策が進められていく中で、施設サービスの今後の方向性についてはどうなるのか。答 施設入所については、新たな計画はありませんが、近隣では近江八幡市で来年計画をされています。竜王町としては、小規模多機能型の施設の計画を進めていきたいです。

そのほか、委員からは介護予防についての諸施策にも一層取り組まれないかという意見がありました。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと、決しましたので報告いたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま、教育民生常任委員会委員長より審査の経過と結果報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第4 議第94号を委員長報告のとおり決することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって、日程第4 議第94号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第5 請第1号 特別支援学校の「設置基準」策定を求める請願書**

**(教育民生常任委員会委員長報告)**

**○議長（蔵口嘉寿男）** 日程第5、請第1号を議題といたします。

本請願につきましては、教育民生常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果を委員長より報告を求めます。教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

**○教育民生常任委員会委員長（古株克彦）** 請第1号、教育民生常任委員会報告。

平成25年12月20日

委員長 古株 克彦

去る12月10日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました請第1号、特別支援学校の「設置基準」策定を求める請願書について、審査の経過と結果を報告いたします。

本委員会は、12月12日午前10時30分より第1委員会室において、欠席委員2名を除く委員全員出席のもと会議を開き、請願人、滋賀県蒲生郡竜王町山之上2191番地の1、岩田浩子氏の請願書について、紹介議員の貴多正幸議員より説明を受け審査いたしました。

請願の主な内容は、特別支援学校には、学校の設置基準がないことから、野洲養護学校は、県下最大の大規模校になっています。設置基準は、学校教育法第3条で、学校を設置する者は「設備、編制その他に関する設置基準に従い、これを設置しなければならない」と定められ、幼稚園から小中学校、高校、大学、各種学校まで全ての学校に設置基準が定められています。

国に、特別支援学校の設置基準をつくるよう、県に特別支援学校の適正規模についての基準を明らかにし、適正規模の基準に沿った増築を行うよう意見書を提出することを請願するものです。

委員からの意見は、そもそも県立学校でありながら設置基準がないのはおかしい。近畿地区で滋賀県が大規模校の一、二位を占めている状況を考えると、早急に取り組んでもらうべきだ。

特別支援教育が支援学校（養護学校）のみに依存することがないように、小中学校や高等学校における実践に努めるべきだ等がありました。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で採択すべきものと決しましたので、報告いたします。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいま、教育民生常任委員会委員長より審査の経過と結果報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第5 請第1号を委員長報告のとおり採択することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって、日程第5 請第1号は委員長報告のとおり採択することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 意見書第6号 特別支援学校の設置基準の策定等に関する意見書

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第6、意見書第6号を議題といたします。

提出者の説明を求めます。教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

○教育民生常任委員会委員長（古株克彦） 意見書第6号、特別支援学校の設置基準の策定等に関する意見書。

内容につきましてはお手元に配付のとおりでございます。

提出理由、個々の子どもに合った教育を願う保護者の期待を反映して、特別支援学校の児童生徒数は急増し、その結果学校が大規模化し超過密化の状態となっている。全国で約五千近くの教室が不足しているため、図書室や音楽室が普通教室に転用されたり、廊下を区切った教室や更衣室を繋げた教室がつけられたりと考えられないような事態が起きている。

このことは、幼稚園から小中高はもちろん大学や専修学校にまで学校設置基準があるにもかかわらず、特別支援学校だけには設置基準が存在しないという根幹の問題にほかならない。

この異常な状態を早期に解消するため、国として設置基準をつくり、施設改善を進めるよう求めるものである。衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣あてです。

○議長（蔵口嘉寿男） 提出者の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第6、意見書第6号を原案のとおり提出することに、賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって日程第6、意見書第6号は原案のとおり提出することに決定されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第7 意見書第7号 特別支援教育の充実に関する意見書

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第7、意見書第7号を議題といたします。

提出者の説明を求めます。教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

○教育民生常任委員会委員長（古株克彦） 意見書第7号 特別支援教育の充実に関する意見書。

内容につきましては、お手元に配付のとおりでございます。

提出理由、滋賀県立野洲養護学校は、児童生徒数が学校の収容能力を大きく上回っており、教職員数の不足などから子どもに目が行き届かず、命の問題には至っていないものの、多くの危険を抱えながら運営されている。また、トイレや体育館など諸施設の整備も児童生徒数の増加に追いつかず、教職員の駐車場も不足している状況で、もはや施設整備が待ったなしの事態にある。

県は将来における特別支援教育の方向性を示すとともに、たちまちは特別支援教育で学ぶ児童生徒の学習権と安全を保障する観点から、学校教育法の設置基準と同様に設置基準の検討を国に働きかけること、また早急に施設の拡大と教職員の適切な増員対策を速やかに講じることを強く要望するものである。滋賀県知事、滋賀県教育委員会教育長あてです。

以上です。

○議長（蔵口嘉寿男） 提出者の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。4番、岡山富男議員。

○4番（岡山富男） 意見書第7号、特別支援教育の充実に関する意見書に対して私は賛成の立場で討論させていただきます。

学校法第3条で、学校を設置する者は、設置基準をちゃんと伴わなければいけないというようになっておるんですが、特別支援学校に関しては、その設置基準がないというのは、もう皆さん御存じのとおりと思いますが、このことに関して、特に高等部なんかは、平成29年までどんどんふえていく。養護学校がどんどん人がふえていくということが明らかになっております。

その中で、県の教育長は、特別支援教育を設けるということを言われております。今のこの段階で特別教室をどこにつくるんかという疑問は持っておるわけですが、それも必要と思いますが、その前に、やはり人数の設置というのは必ず必要でありますし、まして県が今進めていますインクルーシブ教育、これに伴い、しっかりとやっていただかなければいけないということから、私はこの設置基準は大事ということをおもっておりますので、これに対しては賛成の立場で討論させていただきます。

○議長（蔵口嘉寿男） ほかに討論はありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第7、意見書第7号を原案のとおり提出することに、賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって日程第7、意見書第7号は原案のとおり提出することに決定されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第8 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会副委員長、松浦博議員。

○議会広報特別委員会副委員長（松浦博） 議会広報特別委員会報告。

平成25年12月20日

副委員長 松浦 博

本委員会は、本定例会中の12月9日午前10時45分より、委員2名欠席のもと委員会を開催し、議会だより166号について、記事の概要検討と役割分担をしました。

主な記事の内容は、条例の制定及び一部改正、平成25年度補正予算、委員会

活動、一般質問、シリーズいきいき人生などで、12あるいは14ページにまとめ、平成26年2月1日に発行することになりました。

また、今後の本委員会の日程につきましては、12月25日、平成26年1月8日、15日、22日と決定いたしました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

なお、議長には、閉会中の議会広報特別委員会活動につきまして許可くださいますようお願いいたします。以上です。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第9 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第9 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、松浦博議員。

○地域活性化特別委員会委員長（松浦博） 地域活性化特別委員会報告。

平成25年12月20日

委員長 松浦 博

本委員会は、平成25年12月13日午後1時より第1委員会室及び滋賀竜王工業団地工事現場において委員1名欠席のもと、町執行部より竹山町長、福山総務政策主監兼産業建設主監、杼木政策推進課長、松木企業誘致対策室長、東郷工業団地推進担当理事員、尾崎工業団地推進課長他の出席を求め、町長挨拶の後、事前に求めた報告事項及び現地調査を行いました。

1、報告事項、(株)雪国まいたけの状況（「過去の不適正な会計処理」への対応）について。

11月18日、(株)雪国まいたけの取締役管理本部長が来町し、報告のあった内

容について説明を受けました。㈱雪国まいたけでは、平成25年6月に過去の会計処理に関する疑義を指摘する告発文を契機に、社内調査を開始されました。8月27日には証券取引等監視委員会による立入調査とともに、金融商品取引法第26条に基づく報告が求められました。その後、社内調査委員会を設置し、公正な調査を行った結果から、不適正な会計処理の実態、原因分析及び責任の所在を明確にするとともに、再発防止策の立案等が行われました。

主な質疑応答、問 当町や生産者など関係者への影響はあるのか。答 カット野菜は好調で推移していることから、生産者に影響はありません。流通販売に改善の見通しがあり、工場用地の開発にも期待が持てるとの報告がされました。

㈱雪国まいたけから、6カ月ごとの改善報告書（今回は平成26年3月）が提出されることから、慎重にその動向を検証していきます。

㈱ワークマン竜王流通センターについて、配送倉庫の屋根部に昭和石油関連グループがソーラーを設置。平成26年7月から8月に完成する予定で、既に地元説明会が行われました。

2、現地調査、滋賀竜王工業団地で現在進められている以下の工事について調査を行いました。

(1)竜王IC周辺地区溜池整備（本体）工事について。

現地調査において、竜王IC周辺地区溜池整備（本体）工事の工事目的・契約内容・工事内容について説明を受けました。12月13日時点の施工状況は、放流塔工及び放流管工の施工中で、一部、張ブロック工に着手している状態であり、約30%から35%の進捗率です。

委員からの意見、特に整地土工は大型ダンプ1,000台分の山土搬入ということで、近隣への配慮を怠らないようにすること。

(2)竜王IC周辺地区多機能グラウンド（放流管）工事について。

現地調査において、竜王IC周辺地区多機能グラウンド整備（放流管）工事の工事目的・契約内容・工事内容について説明を受けました。

12月13日現在の施工状況は、祖父川に放流する箇所において放流管工を施工中であり、約10%の進捗率です。

委員からの意見、ドラゴンハット入り口周辺であり、通行車両や通行人には交通監視を行い、十分な安全対策を講じること。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていくことを委員会として

決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。以上です。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第10 議会基本条例推進特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第10 議会基本条例推進特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会基本条例推進特別委員会委員長、小森重剛議員。

○議会基本条例推進特別委員会委員長（小森重剛） 議会基本条例推進特別委員会報告。

平成25年12月20日

委員長 小森 重剛

本委員会は、12月13日午前9時から301会議室において、委員3名欠席のもと会議を開きました。

前回の委員会において、町執行部に対しても重要政策事項についての確認が必要であるとの結果を受け、福山総務政策主監、杼木政策推進課長、奥総務課長ほか担当職員の出席を求め、「議会の議決事件」、「通年議会について」をテーマに委員会を開催しました。

まず、議会の議決事件について協議しました。平成23年5月2日に「地方自治法の一部を改正する法律」が公布され、総合計画基本構想の法的な策定義務がなくなり、策定及び議会の議決を経るかどうかは町の独自の判断に委ねられることとなりました。これは、地方自治法第96条第1項に定める議会の議決すべき事件15項目に加え、「前項に定めるものを除くほか、普通地方公共団体は、条例で普通地方公共団体に関する事件（法定受託事務に係るものを除く。）につき

議会の議決すべきものを定めることができる。」という第96条第2項の規定を活用する必要があるというものです。

議会側としては、地方自治法改正に伴う総合計画の取り扱いについて、全国の市町及び近隣市町の取り組み状況を参考資料として提示し、町執行部側として、竜王町総合計画等の策定根拠等について参考資料の提示を受け、お互いの考えについて協議を行いました。

総合計画などは町の根幹となる重要政策であり、議会基本条例第9条「重要政策の審議等」に当たる事項として、地方自治法第96条第2項の規定を活用し、条例により議決すべき事項として取り扱う必要があるとの意見が出され、「竜王町総合計画基本構想」については、議会の議決事件に追加すべきであるとの結論に達しました。

また、近隣市町で議会基本条例を制定されているところにおいては、議会基本条例の条項に「議会の議決事件」として、個別具体的に項目名を列記されているところが多く見られたが、竜王町としては「竜王町議会の議決すべき事件を定める条例」が昭和32年4月1日に制定されており、なるべく早い時期にこの条例の改正、項目の追加を行っていくことを確認しました。

また、総合計画のほかに「都市計画マスタープラン」など地方自治法第96条第2項の規定を活用して、議決権の拡大を図り、条例により議決すべき重要政策に位置づけられる事項がないかを、今後も当委員会と町執行部の双方で継続して検討協議を行うことを決定しました。

次に、議会の会期として「通年議会制度」の導入について協議を行いました。

議会の会期を通年とすることについては、過去に鹿児島県阿久根市議会において、市長が議会を招集することなく専決処分による市政執行を行ったことに端を発し、全国的に議会の会期を通年とすることの機運が高まりました。

通年議会については、先般、蒲生郡町村議会議長会で、議会改革の先進地である千葉県長生村議会の視察研修が実施され、その際に提示された資料を参考に勉強会を行いました。

長生村議会では、議会改革の一環として「長生村議会基本条例」の制定と「通年議会の導入」について並行して調査検討を行われ、「通年議会」については「通年議会分科会」を設置され、平成21年9月1日から平成21年12月31日までを試行期間として実施され、平成22年1月1日から定例会の回数を年1回として本格実施されています。

竜王町としては、現在、通年議会を導入すべき必要性も見えてこない現状であることから、議会の会期を通年とすることについて結論を出すことは時期尚早であるとの意見が多くありました。今後、時間をかけ先進地の実施状況等の調査研究を行い、導入によるメリット・デメリットなどを含めた具体的な検証を行う必要があるとの結論に達しました。

その他として、当委員会はこれまでさまざまな市町の議会基本条例やそれに伴う取り組みについて学んでいるところです。議会の監視機能のさらなる充実・強化を図り、議会が主導的・機動的に活動できるよう、議会改革の成果や課題について学ぶことを目的に、来年1月20日に先進地である石川県津幡町議会への視察研修を実施することを決定しました。

以上、議会基本条例推進特別委員会報告とします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていくことを委員会として決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいのほどお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの議会基本条例推進特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

この際、申し上げます。ここで午後2時15分まで暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時04分

再開 午後 2時15分

○議長（蔵口嘉寿男） 休憩前に引き続き会議を開きます。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第11 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第11 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。議会運営委員会委員長、山田義明議員。

**○議会運営委員会委員長（山田義明）** 議会運営委員会報告。

平成25年12月20日

委員長 山田 義明

本委員会は、10月11日午後4時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、福山総務政策主監、奥総務課長、中島行財政係長の出席を求め、平成25年第3回臨時会の提案事件について説明を受けました。

今回提案された案件は、条例改正が1件、補正予算3件、工事請負契約の締結1件です。同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を10月16日1日限りとすること及び議案の処理について審査決定しました。また、埼玉県深谷市議会会派彩新連合より依頼があった行政視察について受け入れることを決定しました。

本委員会は、10月31日午後4時より第1委員会室において、委員1名欠席のもと委員会を開催し、平成25年第4回定例会の日程について協議しました。また、島根県美郷町議会より依頼があった健康づくりについての行政視察研修について受け入れることを決定しました。

本委員会は、11月29日午前11時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、福山総務政策主監、奥総務課長、中島行財政係長、中江主事の出席を求め、竹山町長挨拶の後、平成25年第4回定例会の提案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、条例10件、補正予算7件、動産の取得1件、指定管理者の指定についての議決11件、広域組合等の解散、決算、規約の変更に伴う議決についての4件の計33件です。同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を12月5日から12月20日の16日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

続いて、特別支援学校の設置基準策定を求める請願書について紹介議員より説明を受け、その処理について協議し、教育民生常任委員会に付託することとしました。

また、要支援者への予防給付を市町村事業とすることについての意見書提出に関する要望書については、議員全員に依頼文の写しを配付し、周知を図ることにとどめ、意見書の提出は今回見送ることに決定しました。

本委員会は、12月9日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、福山総務政策主監、奥総務課長の出席を求め、執行部より追加提出された条例改正1件について説明を受け、議案の処理について審査決定しました。

続いて、自動車関係諸税の簡素化・負担軽減を求める意見書が議員より提出されたことを受け、その処理について審査決定しました。

次に、平成25年第4回定例会第3日の一般質問、6議員8質問について会議の再開時間及び質問の順序等について審査決定しました。第3日の会議は午前9時から再開し、会議は通しで行い、質問については質問通告書の提出順序とすることに決定しました。

本委員会は、12月10日午後1時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、福山総務政策主監、奥総務課長の出席を求め、平成25年第4回定例会第1日に提案された議第99号、指定管理者の指定につき議決を求めることについての撤回及び議第89号、平成25年度竜王町一般会計補正予算（第4号）の訂正について説明を受け、これら2件を午後からの本会議の冒頭で日程に追加することを決定しました。

本委員会は、12月20日午前8時30分より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、今定例会に提出された請願が審査を付託した委員会において全会一致で採択されたことを受け、委員会より提出された意見書2件の処理について審査決定しました。

以上、議会運営委員会報告といたします。

なお、本委員会は引き続き、閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいますようお願いいたします。以上でございます。

○議長（蔵口嘉寿男） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成25年12月20日

委員長 貴多 正幸

本委員会は、去る12月11日午前9時00分より第1委員会室において、委員1名欠席のもと、町執行部より、竹山町長、川部副町長、福山総務政策主監、奥総務課長、図司総務課課長補佐の出席を求め、所管事務調査を行いました。

人事考課と職員体制について。

図司総務課課長補佐より、平成24年度に実施された人事考課制度の試行結果のまとめと竜王町職員数の推移について説明を受けました。

全職員134名のうち、医師・歯科医師や他団体派遣（受入）職員等を除いた124名を対象職員とし、考課期間を平成24年11月1日から平成25年1月11日までとして実施。その後、考課者による考課を第1次、平成25年1月24日から28日、第2次、2月2日から11日に実施、考課者による本人面談を2月18日から22日に実施された。

平成23年度においては、6名の職員が考課シート未提出であったが、平成24年度では回収率が100%となったことから、各所属長において積極的な制度の推進が図れた結果であると考えられるが、人事考課の精度を高める点では、考課者の研修等が必要であると人事担当では考察されています。

職員数の推移については、平成16年4月1日では148名の職員数であったが、自律推進計画や集中改革プランなどにより、平成25年4月1日現在では136名の職員数となっている。しかしながら、発達支援センターの開設や、平成26年度より開所予定の療育事業などをするには、臨床心理士などの専門職を雇用する必要があり、また、職員の年齢別構成のばらつきも非常に多い現状を考慮すると、先を見た職員体制、配置の必要があるとの説明を受けました。

主な質疑応答。

問 考課する側に問題はないのか。答 人事考課の大事なことは点数つけではなく、足りないところをどう補うかだと考えていますので、必ず面談を行い、上司1人でなく主監も含めて複数で考課をしています。

問 現段階では考課ではなく、評価ではないのか。答 評価であれば点数をつけるだけでよいこととなりますが、対面しながら人材育成をとの思いでさせていただきますので、考課です。

問 人事考課は、給与、異動に反映されるものと理解しているがどうなのか。答 平成25年度も試行ではありますが、精度を上げ、平成26年度から本格実施で検討しています。また生涯賃金に波及するため、給与には手をつけず、勤勉手当からと考えています。

主な意見。

平成26年度から本格実施とのことだが、現段階では考課なのか評価なのか不明確ではない。職員個々の自己目標の設定なり地域貢献力度なども考慮し、前向

きて竜王町らしい人事考課制度としていただきたい。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は引き続き、閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） 次に、教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

○教育民生常任委員会委員長（古株克彦） 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成25年12月20日

委員長 古株 克彦

本委員会は、12月12日午後1時より第1委員会室において、欠席委員2名を除く委員4名の出席のもと、町執行部より、岡谷教育長、山添教育次長、市田学務課長、竹内生涯学習課長及び各関係職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

報告事項として。

①給食費負担金の改定について。

給食の内容を落とさないという観点から、消費税率増に伴い、平成26年4月から改定を行うもの。幼稚園3歳児で年額200円、4・5歳児で年額1,000円、小・中学校、給食センターで年額1,100円の負担増となるものです。

②雪野山古墳国史跡指定にかかる文化審議会答申について。

雪野山古墳は4世紀初頭につくられた全長70メートルの前方後円墳で、竪穴式石室から棺内及び棺外において三角縁神獣鏡等多くの副葬品が未盗掘のまま出土しました。石室内の状況から、当時の葬送儀礼を復元することができることから、平成25年11月15日に文化審議会が史跡の新指定について文部科学大臣に対し答申されました。今回の指定により、竜王町内では初めての国史跡となります。

③夏休みラジオ体操の取り組みについて。

各自治会に働きかけ、小学生だけでなく全世代で取り組む仕組みを行った結果、一定の成果が出たという報告がありました。

報告事項の後、午後2時から次の2カ所の所管事務調査現地調査を行いました。

①社会福祉法人育新会 コスモス保育園。

建設地、竜王町大字七里878番地（竜王西小学校南隣）。敷地面積、3,000平方メートル。工事費、1億4,910万円。施工、株式会社フジサワ建設。

1 1月20日に完成した後は什器を入れるのみで、来年4月開園に向けて園児を受け入れる準備をされていました。

主な質疑応答。

問 非常に立派な施設ができ、新しいコスモス保育園への入園希望者が偏らないか。答 現在、そのような傾向にあり、できるだけ希望に添えるように対処していきたいです。

②竜王中学校体育館改修工事。

平成26年2月28日完成に向けて工事中の現場視察を行いました。

請負金額、1億5,855万円。施工業者、株式会社秋村組。主な工事内容は、屋根のカバーリング、内樋から外樋に改修、窓枠改修、アリーナ・ステージの不陸調整及び研磨など内部のさまざまな改修が行われていました。

主な質疑応答。

問 省エネ型照明はLEDになったのか。答 LED照明になり、直接交換方式からリフト式に変更になりました。

問 卒業式には間に合うのか。答 2月28日までの工期契約になっており、現在、工程表どおりに工事が進んでおります。

以上、教育民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は引き続き、閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま各委員長よりそれぞれ報告がございました。この際、一括して委員長報告に対して質問がございましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

各委員長より申し出のとおり、所管事務調査等を閉会中も継続して行うことにいたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、各委員会とも閉会中も所管事務調査等の活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第12 議員派遣について

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第12 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第119条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長に報告していただくようお願いいたします。

以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。竹山町長。

○町長（竹山秀雄） 平成25年第4回竜王町議会定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本定例会は去る12月5日から20日までの16日間にわたって会期を持たせていただきました。議員各位には提案させていただきました32件の議案と追加案件1件、合計33件の議案につきまして、本会議及び総務産業建設常任委員会、教育民生常任委員会にて連日慎重なる御審議を賜り、本日全ての議案を原案どおりの内容にて御可決いただきましたことに、まずもって厚く御礼を申し上げます。

また、それぞれの委員会や本会議一般質問で頂戴いたしました数々の御意見や御提言に対しまして、真摯に受けとめさせていただき、今後の行政経営に生かしてまいらねばならないと考えているところであります。

議員各位が本町の将来に向かって換言申し上げますならば、確かなまちづくりに向かって、いろいろと御高察くださっていることが伝わってまいりまして、行政を預る立場から、その責任の大きさと重さを再認識させていただく16日間でございます。

さて、開会の御挨拶でも申し上げましたが、この1年を振り返りますと、この1年は波乱の1年となりました。3月には水道量水器の問題発覚、9月には台風18号による大きな被害発生、同月に町内介護サービス事業所に関する不祥事発覚、そして年間を通じては、山之上地区での倉庫火災を含め火災件数の増加等反省いたさねばならない負の部分に値する内容の事案が繰り返し起こったものであります。反面、予定しておりました町の活性化に向かっての事業や企業立地は順調に進み、これから本格化いたします。滋賀竜王工業団地の開発は、町の皆さんの目に入る形で、開けゆく本町の姿を実感していただいているものと思っております。

し、こちらを正の部分といたしますならば、竜がうごめく姿のごとく、大変な年ではなかったかと思えます。

議員の皆様を初め町民皆様の御協力と御理解を賜り、1事案ずつ乗り越え、きょうの時を迎えられていますことに、改めまして衷心より感謝と御礼を申し上げる次第でございます。

話を転じさせていただきますが、安倍政権が誕生してちょうど1年になります。財政出動、金融緩和、成長戦略を柱とするアベノミクス効果により、神経質な動きながら、このところの225種から成る日経平均株価は1万5,500円前後の値をつけるようになっており、昨年と比較して、その上昇率は世界でも追随を許さないぐらいのアップ割合であります。

しかし反面では、国の借金はふえ続けており、この先の社会保障費は1年に1兆円ふえると予測されていること、また増税に向かわざるを得ない財政状況等々国が抱える課題が山積みする中で、今のアベノミクス効果が地方の隅々に、また中小零細企業、そして業種を問わず着実に広がり、定着していくように願うばかりであります。

常々申し上げていることではありますが、国際的信用度を上げるために、1,000兆円に及ぶ国の借金を、たとえわずかでも縮減の方向へ財政健全化の取り組みが第4の矢になればと願っていたところではありますが、経済活動を後押しするような明るいニュースが伝わってまいりました。それは2020年のオリンピック、パラリンピックが東京で開催されることに決まり、国民の全てが喜び合ったことであります。財政健全化への施策とオリンピック開催年の2020年に向かった経済対策が相まっての第4・第5の矢になればと思う次第であります。

年明けますと、いよいよ滋賀竜王工業団地の造成工事が本格化いたしますが、工事が順調に進みますことと、極力早きに優良企業の誘致を図るべく、県と連携させていただきながら、その先頭に立たねばならないと考えています。

来年はうま年であります。馬は馬でも天馬のごとく大空を駆けめぐり、その活動の場を広げるようにいたしながら、揺るぎのない不動のまちを築き上げてまいりたいと思っています。

今、町政報告懇談会で町内各地を回らせていただいておりますが、皆さんのお声をお聞きすることが私の公約でもあり、行政経営の基本姿勢ではないかとも言えますし、平成27年には町制発足60周年となり、竜王町にとりまして大きな節目の年に当たります。平成26年は60周年を迎えるための確かな1年になり

ますよう、原点に戻る謙虚さを忘れずに、町の皆さんの御理解・御協力を求めてまちづくりを進めてまいり覚悟でございます。議員各位にも格段の御指導・御鞭撻をひとえにお願い申し上げる次第であります。

本年度も残すところ10日余りと押し迫ってまいりました。この1年、議員の皆様には心から成るお支えを頂戴いたしまして、改めてここに厚く御礼を申し上げる次第でございます。

議員各位には、新しいよき年をお迎えくだされますよう衷心より念じ上げさせていただき、言葉足りませんが、閉会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（蔵口嘉寿男） 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る12月5日から本日までの16日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、御多用の中、連日にわたり御出席賜り、提案されました重要議案について、慎重なる御審議をいただき、大変御苦労さまでございました。また執行部におかれましては、この間、適切なる対応をしていただき、ありがとうございました。

本会議、委員会において、各議員から述べられました意見や要望事項につきましては特に考慮され、執行の上で十分反映されますようお願いする次第であります。

さて、ことし1年を振り返ってみますと、国内外でいろんなことがありました。一言で言えば、災害に特筆される1年ではなかったでしょうか。全国各地で豪雨や竜巻、台風襲来による甚大な被害が発生したことと、短い梅雨と猛暑日の連続で、高知県四万十市では国内史上最高の41℃を記録し、気象の激変に翻弄されました。温暖化が加速度的に進んでいるあかしであると考えられます。

本町においても、台風18号の襲来で、近年にない大きな被害がもたらされ、改めて自然の驚異とそれへの備えや対策の大切さを身をもって感じたところです。実効ある地域防災計画の策定と自助・共助・公助の連携が一層求められています。

一方、躍動の年でもありました。第五次総合計画の前期中間年にあって、大型商業施設の増床オープンや物流業種の開業、また念願でありました岡屋地先に滋賀竜王工業団地が動き始め、当町は、名神高速インターチェンジを軸に力強い追い風とともに、さらなる発展が見込まれます。

中学校体育館の改修、来年度から療育授業の実施など、次代を担う子どもたちの環境整備へも新しい風が吹き始めています。

人口1万4,000人を目標に若者定住などの課題解決へ、第五次総合計画の後期に向けて、勇気と決断を持って進むことが求められていると考えます。

竜王町議会では、一昨年、議会基本条例を制定して以来、開かれた議会、町民皆様から信頼され、存在感のある議会を目指し、議会活性化と改革に取り組んできました。気持ちも新たに一層研さんを積んでまいりたいと考えていますので、執行部におかれましても、御理解と御協力をお願いするところであります。

ことしをあらわす漢字は「輪」でありました。安全で安心して暮らせる力強いまちづくりに町民と行政が両輪のごとく取り組んでいただくための役割を私どもが果たしてまいりたいと思います。

本年も余日少なくなってまいりました。日々慌ただしい中であって、改めてお会いする機会が少なからうと思います。どうか議員各位並びに執行部の皆様におかれましては、この上とも御自愛をいただきまして、御家族おそろいで輝かしい新年をお迎えくださるよう心から御祈念申し上げ、まことに言葉足りませんが、閉会に当たっての御挨拶といたします。

以上をもちまして、平成25年第4回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦労さまでございました。

閉会 午後2時48分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 蔵 口 嘉寿男

議会議員 菱 田 三 男

議会議員 小 森 重 剛